

組合員の活動報告 1

- 3月17日(水) 当組合参与の福島支部(有)タカ工芸社高橋敏夫氏がご自身の会社も大変な最中、福島支部員に「避難所が寒く、避難されている方々が大変だろう」と呼び掛け、ガソリンの続く範囲で(有)ダイワプラン、(有)ハタヤ美芸社、(有)サイン・コア、(有)タカマツ看板店以上の支部員さんより、ダンボール・発泡スチロール・KP パネル等、また賛助会員の大蔵興産(株)さんより KP パネル 3×6 新品 31 枚を頂戴し、予想を超える大量のそれらを信夫ヶ丘陸上競技場倉庫へ届けられ、福島市役所災害対策本部支援物資窓口関係者から大変感謝されました。
- 3月26日(金) 大戸理事長へ先日、静岡県組合員様から浜松のイベント活動をされている方が、未来博の時、福島県でお世話になったとのことで炊き出しのボランティアをおこないたいとの連絡があり、この日静岡県の5名がビッグパレット・郡山高校の避難所で炊き出し(キムチ焼うどん等)を行い、大戸理事長、野地技術開発委員長、郡山支部員10名等が手伝った。また、会津でもおこないたいとのことで会津支部へ連絡をし、4月3日に訪問予定。
- 4月1日(金) 大戸理事長はじめ野地技術開発委員長、郡山支部ホープ工芸橋本敏夫前理事、同じく郡山支部サイン・プロ橋本好勝前理事、相双支部(有)アド・プロ広芸社の社員大和田さん等が福島民報記事のとおりビッグパレット・郡山高校の避難所へ横断幕を贈りました。その横断幕は、避難されている方々の前で手描きされたそうです。また、郡山高校では、避難されている方々へ似顔絵などによりお互いに少しでも元気になろうと励ますため訪問されました。

「双葉郡応援横断幕」寄付
富岡などの郡山・ビッグパレットに
住民避難

県屋外広告美術協組
川内村などの住民が避難している郡山市のビッグパレットふくしまに「双葉郡応援横断幕」



横断幕を贈った大戸理事長(左)ら

を寄付した。
大戸邦男理事長ら組合員五人が同施設を訪問。技術開発委員長の野地良三理事が「ガンパレット」元気が一番「双葉郡」などと横断幕に書いて掲示した。大戸理事長は「被災者のために何かできることはないかと思いついた。横断幕を見て少しでも元気になってもらえれば」と語った。市内の郡山高の避難所にも贈った。

- 4月2日(土) 相双支部の高野看板さんが東和町に避難されており、福島支部(有)タカ工芸社さんからその避難所の子供達・お年寄りのために、木製ケン玉45個、ヨーヨー5個、手描きパズル作りの台20枚など高野さんに連絡し、取りに来ていただきました。
- 4月3日(日) 大戸理事長はじめ野地技術開発委員長、長谷川利彦副理事長、郡山支部(株)ディーシップ渡部龍治理事、会津支部(有)コバヤシ小林聖一理事、会津支部関本広告巧芸関本前理事、会津支部柴崎兄弟柴崎紳さん等が会津美里の避難所等において、イベント活動をされている方の炊き出し(お好み焼き等)の手伝いをおこない、また避難されている方々へ似顔絵などによりお互いに少しでも元気になろうと励ますため訪問されました。
- 4月3日(日) (有)タカ工芸社高橋参与は、町内の方々とあづま総合体育館において炊き出しの手伝いを行った。